

平成 29 年度 厳冬期の知床五湖エコツアー事業実施報告

1. 事業名

「厳冬期の知床五湖エコツアー」事業

2. 事業目的

厳冬期における知床の自然の魅力や価値を多くの人に伝えることや冬期におけるエコツアープログラム及び自然ガイド事業の充実を図り冬期の知床への来訪動機を高め、地域活性化を図る。

3. 事業実施主体

主催：「知床五湖冬期適正利用協議会」（(公財) 知床財団他 6 団体）

事務局：釧路自然環境事務所・斜里町・知床ガイド協議会・知床斜里町観光協会

オブザーバー：オホーツク総合振興局建設管理部、産業振興部商工労働観光課

4. 事業内容変更点

①道道知床公園線の除雪について、平成 26 年度から北海道が行ってきた「試験除雪」が終了し、知床五湖冬期適正利用協議会による「自主除雪」にて実施した。

5. 事業実施結果

- ・実施期間：平成 30 年 1 月 22 日（月）～3 月 22 日（木） 60 日間
- ・実施日数：43.5 日
- ・中止日数：16.5 日間
- ・利用人数：2,320 人（前年比 97.8%）（1 日当平均利用人数 53.3 人）
- ・ツアー事業者の実施回数：399 回（1 回平均 5.8 人）
- ・外国人利用人数：1,483 人（全体に占める割合 63.9%）

6. 利用状況

【性別】

男性：1,056（45.5%）、女性：1,264（54.5%）

【年齢】

～20：91（3.9%）、20代：679（29.3%）、30代 703（30.3%）

40代：376（16.2%）、50代：300（12.9%）、60代：137（5.9%）

70代以上：34（1.5%）

【受付方法】

直接：2,051（88.4%）、ネット：148（6.4%）、ホテル：93（4.0%）

案内所：28（1.2%）

※ネットの内訳⇒日本：48（32.4%）、中国：55（37.2%）、香港：9（6.1%）、台湾：12（8.1%）、
韓国：13（8.8%）、その他：11（7.4%） 合計：148

【外国人国籍】

中国：1162（78.4%）、香港：80（5.4%）、台湾：79（5.3%）、韓国：92（6.2%）、
シンガポール：15（1.0%）、不明その他：55（3.7%） 合計 1483

7. 収支決算状況（協力金による管理運営）

収入 3,471,000 円（協力金 1,500 円×2,314 人=3,471,000 円）

支出 3,491,934 円（▲20,934 円・・・繰越金を充当）

※H29 年度 自主除雪に伴い繰越金より 500 千円を予算付け）

8. 実施状況

平成 26 年度から北海道が行ってきた道道知床公園線の「試験除雪」は、北海道から一定の判断が示されたことにより、平成 29 年度知床五湖冬期適正利用協議会において「自主除雪」で行うことが承認され実施したところであるが、特に問題等の発生は無かった。

また、3 月 8～9 日の暖気と大雨の影響によりコース状況が悪化し、ツアー最終が 3 月 22 日の予定であったが、3 月 12 日以降のツアーは全て中止となり、目標の 2,300 人は上回ったものの前年実績を若干下回る結果となった。

9. 平成 30 年度以降の事業計画

平成 30 年度以降の事業計画については、今後開催予定の知床五湖冬期適正利用協議会で決定することとなるが、平成 30 年度の実施内容については、条件付き承認の条件を基本に、大枠昨年同様の事業内容とし「自主除雪」を進めてまいりたい。

なお、実施期間については「知床五湖地上遊歩道整備」との関連もあることから、関係機関と調整を図ったうえで事業を進めることとしたい。